

令和5年度 第2回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和5年11月24日(金) 18:00 ~ 大会議室

学校運営協議会委員(順不同 敬称略)

富田 昇(東大阪大学短期大学部 教授)  
味岡 知行(味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士)  
奥野 浩史(奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士)  
丸井 理恵(堺市立旭中学校 校長)  
山本 達也(人権擁護士)  
上田 則子(保護者 代表)

1 准校長挨拶(平野 准校長)

2 令和6年度 教科書の採択について(古川 教諭)

1・2年生は昨年度採択のものと変更はありません。3年生は新しく開講される授業の教科書を各教科で選定しました。図・写真・絵が多く、生徒が理解しやすいものを選んでいきます。

3 体験入学について(古池 首席)

中学校(生徒・保護者・教員)を対象とした体験入学を12月9日(土)午後実施予定です。既に中学校へ案内を送付し本校HPにも掲載して募集を図っています。体験授業の内容は機械科・電気科・堺学(刃物・線香)の実習を予定し、既に31名の申込みがあります。

4 本校の状況について

① 教務部(古川 教諭)

○生徒の在籍について、1年生は38名、2年生が25名、3年生が22名、4年生が3名の合計88名と、昨年度より多い人数で新年度を迎え、残念ながら1年生・4年生各1名が退学、3年生1名が転学し、現在は85名の在籍です。

○来年度の募集人数は1クラス40名ですが定員を超える出願を目標にしています。

② 進路指導部(保田 教諭)

○年々生徒数が減少し内定企業数も減っていますが、学校斡旋希望者は今年度も100%の内定をいただいています。

○進学については森ノ宮医療大学、桃山学院大学、放送芸術学院専門学校の3校に合格しています。また、1名が共通テスト受験を控えています。

③ 生徒会活動部(古池 首席)

○「秋季発表大会」がキリスト教短大で実施され、「生活体験発表」で「教育委員会賞」を受賞しました。また、写真・書道・美術工芸(包丁・お線香)・絵画の部で「奨励賞」受賞、軽音楽以外全ての部門に多くの生徒が参加し、作品が展示されました。

○11月4日(土)に「府工祭(定時制文化祭)」を実施し、午前中は飲食模擬店を、午後は視聴覚教室でビンゴ大会を行いました。また、近隣の「地域清掃」も実施しました。

○「ソフトテニス部」が全国大会出場をはじめ、公式戦で非常に優秀な成績を収めています。「軟式野球部」も各公式戦大会に参加しました。

④ 支援教育委員会(古池 首席)

○1年生には、「支援学級在籍者:10名」「不登校経験者:12名」「手帳のある生徒:3名」「手帳はないが診断がある生徒:3名」「過年度生徒:13名」「外国にルーツを持つ生徒:3名」が、17校の中学校から入学しています。

○「居場所事業の展開」「NPO法人の支援」「週1回のSSW勤務」「学習支援員の配置」等により、1年生を中心に多くの入り込み授業が実現できています。

- 生徒は大人しい生徒が多いですが、学習面で支援が必要な生徒が見られます。
- 生徒向けに、薬物依存から回復された講師からの「立ち直り講演会」を実施、12月には「いのちの授業」として、助産師と保健師による講演と体験を予定しています。
- 教員向けに「模擬ケースからアセスメントとプランニングを検討するグループワーク」をSSW研修として実施し、新転任対象に「舩松人權歴史館」で人權講演とフィールドワークを行いました。
- 夏休みの「中学校合同懇談会」に7校の参加があり、1年生の情報共有を行いました。
- 本校で毎日開講している「居場所授業」について、10月に教育庁から見学がありました。

- ⑤ その他（保田 教諭） 堺研・ボランティア活動部・エコプロジェクト部からの報告
- 11月9日 脱炭素チャレンジカップ2024 全国大会出場（結果待ち）。
  - 12月8～10日 イオンエコワングランプリ 近畿代表として全国大会出場。
  - 12月17日 全国ユース環境発表大会 近畿地方大会 → 近畿代表として全国大会出場。
  - 「さかいSDGs推進プラットフォームのイベント」の取組みが、産経新聞に掲載。
  - SDGs関連の取組みが、宝島社の月刊誌「田舎暮らしの本」にカラーで掲載。
  - 使用済み油を使って航空燃料のSAFを作り飛行機を飛ばす「FRY to FLY Project」に、「コスモ石油」「JAL」「ANA」と一緒に一番力を入れています。今まで廃食油は国外に輸出していましたが、国内で初めて「コスモ石油」が本事業を推進ことになり、本校は「堺支部長」として参加しています。
  - 11月には「災害ボランティア活動」として、生徒とともに東北被災地の支援団体へ以下の支援品を届けました。
    - ・生徒が堺学Aの実習で作成した「包丁」
    - ・生徒が堺学Cの実習で作成した「お線香」
      - 宮城県の女川支援学校の生徒が集めた桜の花びらを入れました。
    - ・「山月工房」がトンボ玉で作成した「お香立て」
    - ・「にじゅら」が作成した「注染のエコバック」
  - 本校のボランティア・環境関連活動において、コラボ先である堺警察署や東北支援団体の一つである釜石市より「感謝状」をいただいています。
  - 生徒は積極的に本校ボランティア・環境事業の関連イベントへ参加しており、先々週の線香まつりや昨日の大鳥大社新嘗祭でも一生懸命取り組んで活躍しています。
  - 堺ライオンズクラブと共に「古墳ウォークラリー」等ユネスコ世界遺産関連の取組みでは、本校生徒が幹事として参加しています。

#### 【委員からの質問】

- 体験入学の申込みは昨年度に比べて増えていますか？ → 昨年度は、約40名の申込みがありました。今年度は電話での問合せが非常に多いのですが、出足は少し悪いです。2月にもう一度体験入学を実施しますので40名以上の参加者を目標にしています。
- 1年生の在籍38名は、他の定時制と比較しても多い。中学生の進学意識は過去と比較して変わっていますか？ → 10月に出た数字からみると、大きな変化はありません。
- 今年度卒業予定者は何名ですか？ → 約20名です。
- 就職未定の生徒はいますか？ → いません。学校斡旋以外は縁故就職があります。
- 就職の複数応募の影響はどうですか？ → 今のところはほぼ一人一社応募の状況です。
- 堺近辺の就職先が多いですか？ → はい。自転車通勤や近隣の勤務先を希望する生徒が多数です。非常に多くの求人をお願いしており、生徒の希望条件を叶え易い状況です。
- 居場所事業の参加生徒数は？ → 生徒は常時6～7名います。NPOの方・サポーター・教育相談実習生のうち毎日2名程度が対応しています。
- 授業入込み等の支援員は何名いますか？ → 支援員6名に加え非常勤講師の先生も入り込みをしています。

【委員からの意見】

- 定時制土曜講座堺学の講師として、19年間「ものづくり」を通して生徒の成長を目の当たりにしています。生徒の育つ環境はみんな異なるので非常に大変ですが、先生方は「ひとづくり」のプロとして引き続き頑張ってもらいたい。
- 近隣中学校としていつもお世話になっています。協議会に参加するたびに刺激を受けています。これからもよろしくお願いします。
- こども食堂ネットワークに関して、コロナ関連でなかなか進んでいないですが、2月の体験入学に間に合うように進めますので、連携をお願いします。
- 通勤時に大工大の生徒と話す機会があり、堺市ある堺工科高校定時制の取り組みが凄いと話題が大学生から出た。話す度にこの定時制高校がまたこんなことをしていたとかの話題が普通に大学生から出る。まさか離れた場所で関係のない人からこの定時制の話が出るほど御校取り組みの注目度が高いことに驚いている。